

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第61号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年5月3日 13時20分ごろ	
発生場所	鹿児島県甬島西方260km付近 （概位 北緯31°33.5′ 東経126°58.2′）	
事故等調査の経過	平成21年5月3日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	測量船 昭洋、3,000トン	
船舶番号、船舶所有者等	135889、海上保安庁	
乗組員等に関する情報	機関長、二級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷推進用電動機制御装置のアナログ出力カード（FTK423A-C10）が損傷 右舷推進用電動機制御装置の電圧／電流変換器（WCP-DS-25A-3）が損傷	
事故等の経過	<p>本船は、東シナ海にて海洋調査中、左舷推進モーターが原因不明の障害により使用不能となったが、右舷推進モーターを使用して観測を継続していたところ、平成21年5月3日13時20分ごろ、右舷推進モーターが突然後進に入って、船尾からえい航していた観測機器を右舷プロペラに巻き込み航行不能となった。</p> <p>その後、同日17時35分ごろ、プロペラに巻き込んだ観測機器をすべて回収し、同日20時50分ごろ、乗組員作業によって右舷推進モーターが仮復旧し、時速9kmで鹿児島港に向かい、同月5日11時40分ごろ、鹿児島港谷山2区に投錨して、業者修理を行った。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、ディーゼル発電機2基、推進モーター2基を有するディーゼル電気推進式の2機2軸船である。</p> <p>左舷推進モーターの故障については、左舷推進用電動機制御装置のアナログ出力カードが老朽劣化により損傷した可能性があると考えられる。</p> <p>右舷推進モーターの故障については、右舷推進用電動機制御装置の回転速度指令信号用電圧／電流変換器が老朽劣化により損傷した可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が海洋調査中、左舷推進用電動機制御装置のアナログ出力カードが老朽劣化により損傷して通信エラーが生じて停止し、また、右舷推進用電動機制御装置の回転速度指令信号用電圧／電流変換器が老朽劣化により損傷して速度指令が後進一杯となり、制御できなくなっ	

	たため、観測機器を右舷プロペラに巻き込み航行不能となったことにより発生した可能性があると考えられる。
--	--